

No 558 5月号

平成12年 5月11日発行

「照葉樹の森」オープン

「照葉樹林の保護・再生・活用がテーマ」



本当の意味での 実現に向けて!!

ぼく“でんしろ”です

“自然”を“そのまま”次の世代に残す事も私達の責任です。



昼食は、地元で取れた農林産物を使った手づくりの「煮しめ」「いのししなべ」「田代米のおにぎり」そして取れたての新茶でもてなしました。
食生活改善委員と花瀬・おふじ生活改善グループの皆さん



くす玉割りに大原緑の少年団員も参加

記号	区分	誘導ナンバー	距離	所要時間
■	稲尾岳登山道 西口コース	①～⑩ →①～③⑩	3.3km	150分
■	稲尾岳登山道 北口コース	①～③⑤ →①～③⑩	2.0km	120分
■	自然観察道 滝巡りコース	①～⑭④	2.3km	90分

(登山は、誘導ナンバーを目印に登りましょう)



須賀龍郎知事来町
「照葉樹の森の保護・再生・活用を誓う」

照葉樹の森の楽しみ方
稲尾岳ビジターセンターに行く為には、第一駐車場から「せせらぎのこみち」所要時間20分かかります。沢沿いに森林浴を楽しみながら歩いて下さい。

登山を楽しむ為には、3つのコース
①西口コース②北口コース③滝巡りコース※図参照がありそれぞれどこも照葉樹原生林の自然や雄大な景色を堪能することができます。

しかし、時間にゆとりの無いスケジュールで安易に考えていると、自然に

拒まれるかもしれませんのでご注意ください。

その他にも、マウンテンバイクコース(自転車貸出しはありません)や展望台のある「丘の道」所要時間40分、「木場岳登山コース」所要時間60分などがあり、残された貴重な自然を心ゆくまで楽しむことが出来る仕組みになっています。

「照葉樹の森」開園



照葉樹林の小高い丘の上にそびえたつ「稲尾岳ビジターセンター」

鹿児島県は、稲尾岳・木場岳一帯の貴重な照葉樹の原生林や自然を保護するとともに、県民が豊かな自然に親しみながら、森林学習及び野外体験のできる施設や照葉樹林の復元をめざす目的で整備を進めている「照葉樹の森」で四月二十八日(金)開園記念式典を開催しました。

照葉樹の森は、タブノキ、イスノキ、アカガシが原生の姿をとどめる西日本最大級の照葉樹林帯です。

「森林生態系保護地域」をはじめ「自然環境保全地域」を



須賀知事祝辞

「天然記念物」の指定を受けている貴重な森林を保護・再生・活用をテーマに豊かな自然に親しみながら、森林・林業、又、自然環境保全について学べるように整備されています。

当日は須賀龍郎知事をはじめとする県林務水産部関係者、県議会、地元関係町長ら約二五〇名が出席し開園を祝った。

記念式典に先立ち、須賀知事、前之園町長ら6人によるテープカット並びに大原緑の少年団員らによるくす玉割りと稲尾



林・リネット・稲尾(女性グループ結成)



役場職員「鼓友会」による「千畳太鼓」の披露

岳ビジターセンター内見会を実施し施設内の展示物等により森林や自然のすばらしさ、大切さを再認識されているようでした。

シリーズ ②① たしろで生きる

平成9年度田代町で初めての女性認定農業者で、茶専業農業経営主！！

農業法人「山茶香」の構成員として、機械化された効率的な茶園管理を行う経営感覚にも、優れた女性経営主。今まさに摘採時期！！今年も新茶は順調なスタートをされました。

ご主人が7年前他界され、2人の子供を育てながら、周りの方々に助けられ、手をかければ生き生きと育てて答えてくれる茶に感謝しながら、毎日を充実して、過ごしていらっしゃいます。

美保子さん自慢の、頼もしい息子隆仁君は、レスリングで昨年、数々の大会にも参加。素晴らしい成績を残していらっしゃいます。

これからも経営主として、地域を支える認定農業者として、ますます元気で頑張ってください！！



家族構成

世帯主 裾分 美保子 (50歳)
長男 隆仁 (18歳)

●経営 茶専業

四月から田代町の職員として経済課農地開発係に配属されました、平石誠です。生まれ育った町、田代で働くことを大変うれしく思います。初めて社会を経験し、驚きやとまどいを感じながらも職場の方の優しい指導、温かいおはげしもあり、楽しい毎日を送っています。

今はまだ分からないことばかりで、ひとつひとつの仕事に不安をおぼえてしまったり自信が持てずにいますが、そのひとつひとつが勉強であると思うのでしっかりと身につけて、積み重ねていきたいです。

町民の皆さまのお役にたてるよう、田代町に恩返しができるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



平石 誠 (25歳)

○所属課 経済課 農地開発係
新規採用職員紹介

近畿たしろ会子ども交流事業について (お知らせ)

今年の7月28～31日まで大阪方面に住んでいる田代町出身のお子さんたちを田代町に招いて交流するものです。25名募集しています。もし大阪にお孫さんがおられるところは連絡してみてください。

詳しくは、町教育委員会 (電話) 5-2515まで



時 健二 (21歳)

○所属課 建設課 工務第一係
花瀬公園まつり寄付

四月から、田代町役場の建設課で働く事になりました時吉健二です。

自分の生まれ育った町で働けるといふ事は、とても幸せな事だと思えます。それと同時に今の時代に町職員として歩むという事の難しさ、責任の重さを、深く感じています。

まだまだ分からない事ばかりですが、世代を越えた「ふれあい」の中で、共に学び、共に成長していきたいです。

さる、四月二日(日)開催されました「花瀬公園まつり」に對しまして御協力いただいた方々を、本誌に掲載いたしますと共に御礼申し上げます。

(株)田代建設 小梅枝昭蔵様
(株)三共建設 中島 照雄様
(有)柴立建設 柴立登代美様
(有)丸重建設 嶋兒 速美様
(有)神田産業 神田 和雄様
クラシックぶどう園 濱田隆介様
柴立観光ぶどう園 柴立登代美様
(有)ティエラ(根占町) 大村一裕様
御協力ありがとうございました。



無人販売所「山里」



花瀬でんしろう館しば桜



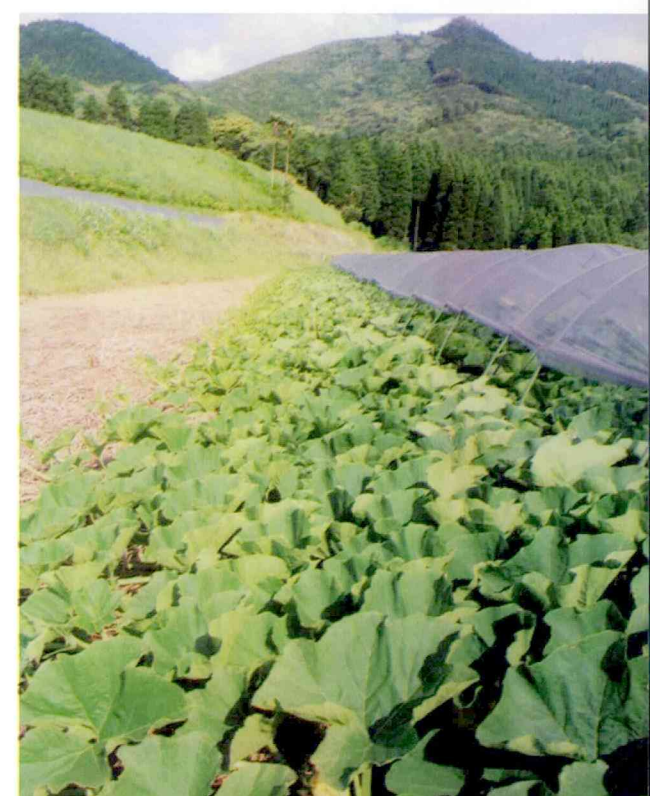
この花なあ～んだ？ (くまがい草)



花瀬川両岸に「町花やまふじ」満開



なんと言う花なんですか？



田代特産「えびすかぼちゃ」も順調です。(4)

学校だより

大原中学校

4月6日、入学式が行われました。3月に卒業生を送りだし、さびしい思いをしていたのですが、新入生5名を迎え、大原中学校もさらに、明るく楽しい学校生活を送れるのではないかと、期待に胸をふくらませています。



中学校でがんばっていこうと思います。

少し緊張しています



ご入学おめでとうございます。



お互い、がんばっていきましょう。



▲ 9,500年前の上野原縄文ムラで記念撮影

4月7日(土)に県立埋蔵文化財センターチームと田代町役場チームとの親睦ソフトボール大会が実施されました。会場は国内でも最古最大級の縄文のムラとして有名な国分市上野原遺跡のグラウンドでした。

この上野原遺跡には、昨年田代町で発掘作業のあった鶴園・郷ノ原地区のホケノ頭遺跡の地層も展示されています。参加者は初めてこの場所を訪れた人が多く、県立埋蔵文化財センターの先生方の説明に熱心に聴き入っていました。町民の皆さんもぜひ上野原遺跡を見学してみてください。

上野原遺跡にて親睦ソフトボール実施

はじめまして



大原中 教諭 郷原 誠

大隅半島の中程に位置する鹿屋市の第一鹿屋中学校より、この度の人事異動で、大原中学校に赴任してきました。

前任校の第一鹿屋中学校は、8年間勤務したとともに私の母校でもあり、多感な中学校生活を過ごした思い出多き中学校でもあります。

新任地で多少の不安もありましたが、この自然豊かな大原の、26名の子供達と接する中で、日々新たな感動があり、毎日が新鮮です。この子供達と心を割って接する中で多くの事を共に学べたらと楽しみにしています。

どうぞよろしくお願い致します。

追伸
アウトドアの好きな私です。花瀬公園とかで見かけたら気軽に声をかけて下さい。



チームワークが不可欠

お年寄りが寝込んだ、痴呆症状が急に進んだなどの事態が起こったとき、まず考えるのは、だれが、どこで、介護するのかということでしょう。お年寄りの家族、親類のほか、できれば近所の人たち、専門家の意見も入れて話し合います。介護の中心になる人が決まったら、みんなでその人を支えて心と体の負担を最小限にすることが大切です。

介護者は同居する嫁や娘というケースが多いようですが、「わたしでなければ…」と思い込み過ぎるとつらくなります。また、介護する人が高齢だったり病弱だったりするときには、体力的な問題も起こってきます。特定の人だけに「任せきり」にしない、「任せられきり」にならないで家族全員のチームワークを生かすことが必要です。



●手のかけ過ぎは、自立の妨げ

何でもしてあげるのが、優しい介護と思ひ込んでいませんか？そうすると、お年寄りは甘えと依存が習慣化し、使わない筋肉が弱り、自立はますます遠くなります。介護する人は、動けなくなってしまったお年寄りの介護量が増えてへとへとになってしまうなど、悪循環です。「手を出さず、目は離さず」をモットーに、毎日の介護を見直してみることも必要です。

介護者の心構え①

介護は家族みんなで

●男性の手を生かす

介護は力のいる仕事が多いので、兄弟、息子などの男性の手を上手に生かしましょう。女性のよさ、男性のよさを生かせれば、介護されるお年寄りも安心です。

●孫の役割を決める

孫に会う楽しみ、優しくされる喜び、おじいちゃん、おばあちゃんが孫に与えることができるうれしさはこの上ないものです。年齢に合わせて、その子に任せられる役割を決め、家族の一員として責任をもたせましょう。



お年寄りにも役割を

お年寄りを上手に介護していけるかどうかは、お世話をする家族がどれだけ普通に生活できるかにかかっています。そのためには、お年寄りにも役割をもってもらうことが重要です。少しのことでも「やっていただいてよかった、助かりました」と言えば、お年寄りも「家族の役に立ててよかった、またやろう」と意欲が出てきます。我が家のお年寄りは、長い人生の経験者であるという尊敬の態度をもっていることが大切です。

またよろしく
お願いいたします。



大原小 期付教諭
松 迫 ル ミ

「はじめまして。」より
「また、よろしく願います。」

今年で田代町にお世話になるのは3度目です。自然がいっぱい、地域の方のやさしさがいっぱい。そんな田代町でまた過ごすことができ、うれしく思います。

田代小学校、大原小学校の子どもたちは、いつも明るく元気いっぱいです。一生懸命、いろんな活動に取り組んでいる子どもたちの姿は、とても立派だなあと思いました。

子どもたちから学ぶこと、地域の方から学ぶことはたくさんあります。自分も学び続けながら、子どもたち、地域の方、先生方と協力し合いながら頑張っていきたいと思えます。どうぞご指導のほどよろしくお願い致します。

はじめまして



大原小 教諭
上 山 修

この度の異動で曾於郡大隅町の岩川小学校から赴任してまいりました。

大原小は全校児童数が36名のかわいい学校ですね。これまで2校とも五百名前後の学校でしたから、最初はやさしいとまどついていた私でしたが、大原のやさしい先生方、校区の方々、そして子ども達に助けられ、もうすっかり慣れることができました。

小規模校の利点は、一人ひとりとより深く接することができるところでしょう。逆にそれだけ担任の影響も大きいという訳ですから、今まで以上に、自分に厳しく全力でぶつかっていくことが合いを入れていきます。

地域の皆様とも深く交わり、多くの事を学ばせていただければと思っています。どうぞしどし鍛えて下さい。よろしくお願い致します。

時代の流れと共に



大原小 校長
鬼 塚 辰 弘

肝属郡田代町……昔懐かしい響きの伝わってくる町である。今から29年前、僻地教育研究大会で隣の辺塚小学校に行く途中、本町を通り抜けたことを思い出します。森林資源に恵まれた山懐の静かな佇まいの中に、安らぎの里として純農村の風景が息付いていました。

こうした中に子供たちの素朴さと優しさがみられ、また、町民の人情味溢れる豊かな風土、各々の仕事に勤しむ人々の働く姿が目に見え込んでいきます。

静の中に動を感じ、動の中に静を感じる。時代の流れと共に少しずつ変化していく田代の町に愛着を感じつつ、21世紀に生きる子供たちに力強さと生活力をつけてやりたい。そんな思いで今後の教育活動に取り組んでまいりたいと考えています。

はじめまして



田代小 養護教諭
小 原 咲 子

養護教諭の期限付で1年間お世話になります。出身は日置郡の伊集院町です。昨年まで鹿児島大学医学部小児科で研究助手をしておりましたが、教師という夢を諦めきれず思い切って転職しました。

初めての土地で初めての教員生活。今までとは全く違う環境に戸惑いや不安はありますが、素直で純粋な子供達、明るい先生方に囲まれて忙しくも楽しい毎日を過ごしています。

教師生活1年目で至らない点ばかりかと思いますが、かわいい子供達、温かい地域の方々、田代の子供の為に頑張っている先生方の力をお借りしながら、日々努力し、子供達が元気いっぱい学校生活が送れるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしく願います。

よろしく願います



田代小 校長
西 鶴 辰 哉

この度の異動で吹上町立和田小学校より赴任してまいりました。転居の際は、大変多くの方々にお世話になりました。

夕方、PTAの役員の方々が町内を案内して下さいました。田代町に異動が決まって多くの方から、田代は自然環境に恵まれた、人情味豊かなところだと聞かれました。町内を案内してもらい、短い期間多くの方々を知り合いました。歴史と伝統が今も残り、美しい緑に囲まれ、温暖で人情味溢れるところであると実感致しました。この田代で勤務できますことを大変嬉しく思っております。

今まで先生方が築いてこられた歴史と伝統を継承し、守り育てていきたいと思えます。皆様方の本校教育への御理解・御支援・御協力をよろしくお願い致します。

はじめまして



田代中 教諭
長 友 淳 子

この度の異動で、鹿屋中学校より赴任してまいりました。出身は隣の浦町です。親しみを感じています。

田代中に来て一ヶ月ほど経ちますが、毎日が新鮮で充実しています。気持ちのよいあいさつ、授業中の真剣な眼差し、諸活動への意欲的な取り組み、そのどれもが私の心に元気を運んでくれます。そんな田代中の子どもたちに出会えたことをうれしく思っています。

よろしく願います



田代中 事務職員
狩 行 利 明

花瀬川の石畳で催される公園まつり、クラシックを聴きながらのブドウ狩り等豊かな自然を生かした、いろいろなイベント開催を新聞等で知っていました。その田代町に今年から御世話になることになりました。学校の新任式では、生徒達が大変な美しい歌声で歓迎してくれました。本当に新鮮な驚きでした。今頃は小学生でもあまり声が出ないと聞くこともあり感心することでした。

こんな環境の所で、これから勤務できるのかと思うと自然と笑みが浮かんできました。私も一学校職員として、豊かな自然に恵まれた田代町の教育の手助けができればと思います。微力ながらがんばりたいと思えますので、よろしくお願い致します。

よろしく願います



田代中 教諭
下 原 恵 美 子

この度の異動で曾於郡の大崎中学校より赴任してまいりました。

こちらへ来て2週間になります。子どもたちの礼儀正しさや、何事にも努力を惜しまず全力で取り組む姿を見て、田代中で勤務できる喜びを感じています。

出身は曾於郡の岩川で、教職に就いてからも曾於と肝属を行き来しているのですが、肝属南部の学校は初めてですので、とても新鮮な気持ちで毎日を送っています。

豊かな自然に恵まれた環境の中で、生き生きと学校生活を送っている生徒たちが、将来、社会人として自立していくために、微力ではありますが、精一杯がんばりたいと思います。どうぞよろしく願います。

心も新たに
新任教職員宣誓式



▲田代のためにがんばります

4月7日(金)、役場3階会議室において、新任教職員宣誓式が開催されました。今年度、田代町に転入された9名の先生方が出席し、決意の言葉を発表されました。緊張の中にも教育に対する熱意を感じ取ることができました。



▲緊張感漂う中での新任教職員紹介

田代町の教育に新風を吹き込み、町民の期待にきつと応えてくださるでしょう。

充実した子ども会
活動をめざして



▲子どものための子ども会活動をめざして

4月15日(土)、「青少年育成の日」に老人福祉センターにおいて、インリーダー(集落子ども会役員)と地区子ども会指導員の合同研修会が開催されました。まず、各集落子ども会をリードするインリーダーの役割、子どもが主体的に動く子ども会活動のあり方について研修しました。

その後、地区ごとに指導員を交えて、本年度の地区役員、年間活動計画について話し合いました。どの地区でも、さすがにインリーダーとは思わせるような活発な話し合いが展開されました。

役立っています あなたの国民年金



平成12年3月にゴミ運搬車を購入しました。この財源として、国民年金積立金還元融資を受けました。

・購入金額861万円・融資額 600万円
このように、納めていただいた保険料は、いろいろな形で私たちの生活に役立っています。

山 油 近 茅 中 白
木 下 田 川 野 村 山
哲 ト 兼 ミ 貞
己 シ 一 貢 ネ 盛
様 様 様 様 様 様

田代町社会福祉協議会
「篤志寄附金」

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

「特設人権相談所」 「登記相談所」 開設

- 1.日 時：5月18日（木曜日）
午前10時から午後3時まで
- 2.場 所：田代町老人福祉センター
- 3.相談員：法務局職員、人権擁護委員
鹿屋法務局（0994-43-6790）

「年金相談所」 開設

- 1.日時：5月25日（木曜日）
午前10時から午後3時まで
- 2.場所：役場厚生室
- 3.内容：主に厚生年金保険制度
及び国民年金や船員保険
鹿屋社会保険事務所（0994-42-5121）

休日在宅当番医

月 日	当 番 医	TEL
5月14日	長 浜 医 院	2-0137
5月21日	じょうさいクリニック	4-2977
5月28日	濱畑クリニック	5-2575
6月4日	二川内科胃腸科	2-2033
6月11日	津 崎 医 院	4-2153

休日在宅当番医

空屋 情報

●荒田原団地 2号・9号
●払川団地 5号

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,708	0	8	5	21	△18
女	1,850	3	8	1	25	△15
計	3,558	3	16	6	46	△33
世帯数	1,450					△4

平成12年4月1日現在

人口のくびき

編集途中下車

27

「照葉樹の森」が一部開園されました。当日は、須賀知事も来町されるといふ事で、県道根占辺線もいつもになくきれいに清掃されているようでした。（笑）
県内でも2番目に人口の少ない町（村は除く）で、大隅半島の南の果ての山村であり、町民の方々も何も無い所とされているようですが、その本町が、山の中という事で今注目されようとしています。
「残された貴重な照葉樹林帯」「手つかずの豊かな自然」とか言われていますが、要は、人が手を付けるには不便な所

であつた賜で、今本当にそれらをどのように生かすかが問われていると思います。
多くの人々に関心を持つていただき、訪れ親しんでもらいたい考えは理解できますが、それだけで良いのでしょうか？
人が集まるように道路、施設は一応出来上がりました。
次に成すべき事は、何でしょうか？それは、訪れる人々に対してのマナー教育もあるのではないのでしょうか？「本当は、自然のままで残してほしい。」しかしながら、人々に自然の大切さ、恵み、生い立ち等を学んでいただく為に開発したのであれば、その後のフォローも充分考へてあると思いますので大いに期待しています。
人が訪れるという事は、必ずと言っていい程荒れます。
ゴミ、トイレの汚水、排気ガス・地下水汚染等挙げればきりがありません。何らかの対応の準備も必要ではないでしょうか。
今、なぜか常識が通用しない人々が増えていると思うのは、私だけでしょうか？
常識・健全な社会人が共通にもっている普通の知識・判断力。コモンセンス（旺文社）
せっかく訪れるであろう人々（交流人口増加による活性化）に対して地元町民の私達に出来る事は何かあるのか知恵を出し合ってみて下さい。
活性化が自分たちの生活に結び付くようにしながら。（好）